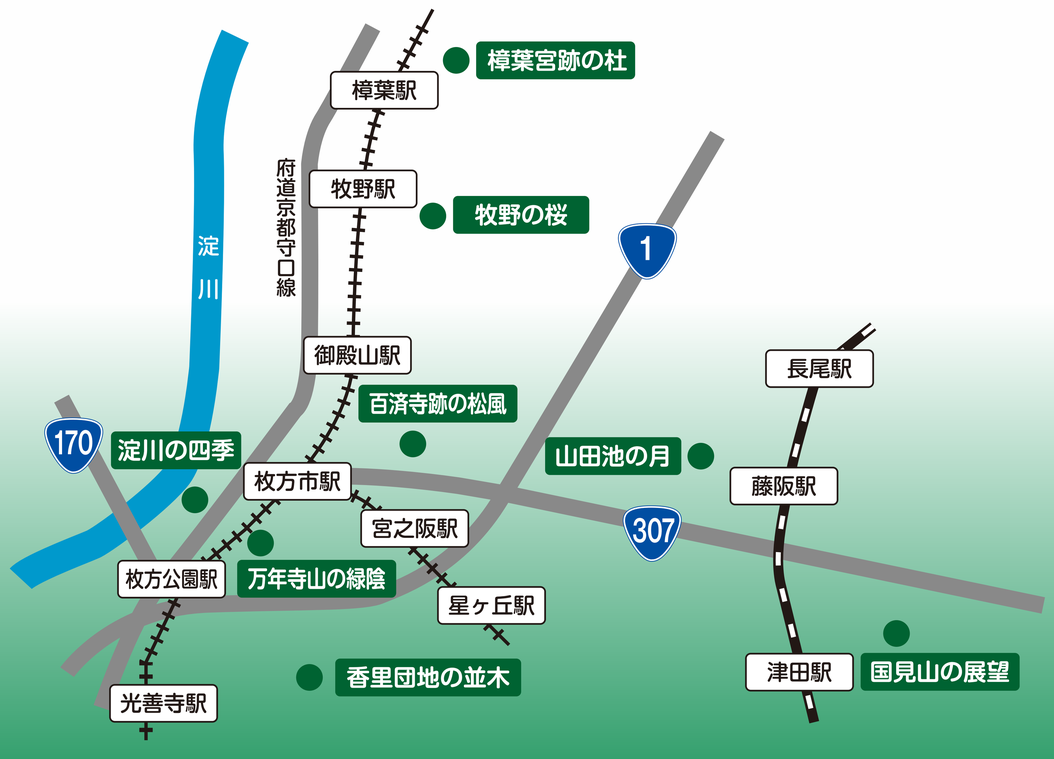
枚方八景

市制35周年を記念して
「ふるさと枚方」らしい風景を
将来に伝承していくことを目的に
枚方八景を制定しました。

昭和59年10月1日制定　枚方市

English guide
한국어 안내
中文 指南

枚方八景位置図



百済寺跡の松風

中宮にある特別史跡百済寺跡は、8世紀後半に百済王族の末裔である百済王氏が、難波からこの地に移り、一族の氏寺として建立した寺跡と考えられ、昭和16年に国の史跡に指定され、昭和27年3月に特別史跡となりました。

かつては、府下で大坂城跡とならぶ特別史跡でありながら、老松が天を覆い雑木が繁って立ち入る人もなく、熊笹のあいまに礎石が見られる荒廃ぶりでしたが、昭和40年から全国に先駆けて史跡公園として、2年をかけて市民の憩いの広場に整備されました。

整備後は「百済寺跡の松風」として親しまれたように、老松や雑木が遺構を包み込む緑豊かな景観が特徴でしたが、平成24年度から始まった再整備事業により、その姿は大きく変化しています。講堂周辺などでは松などの根が基壇の一部を破壊するなど遺構を痛めていたり、松枯れなどのため伐採しましたが、公園東部分に新たな松林が育成され、風が松の梢をなびかせています。

現在の公園では、最新の発掘調査の成果に基づき、金堂や東塔・西塔、中門などの基壇が立体表示され、双塔式の美しい伽藍配置がより鮮明に浮かび上がるようになりました。令和6年3月には築地塀の一部も復元され、新たに蘇った格式高い歴史空間に吹き渡る松風が訪れる人々を誘うことでしょう。